

## 日本看護医療学会子どもと家族のケア部会 第5回学習会実施報告

1. テーマ:ひとり親家族やアレルギーをもつ児の家族への支援について考える

講演「ひとり親、その子育ての現実と当事者の声」

講師:名古屋市立大学・准教授 門間晶子先生、くれよんの会 服部恵美子先生

事例検討「アレルギーを持つ児と親とのかかわり」

事例提供:あいち小児保健医療総合センター 舟木由乙世先生

※ 本学習会は中部地区小児アレルギー看護の会との共催にて開催した。

2. 開催日時:平成26年3月23日(日)13:30~16:00

3. 場所:名古屋大学医学部保健学科 本館4階 母子看護学実習室

4. 参加者数:28名

5. アンケート結果:20名が回答

1)参加者の属性

① 年齢…平均40.1歳

	人数	%
20代	3	15
30代	6	30
40代	3	15
50代	5	25
無回答	3	15

② 職種

	人数	%
看護師	13	62
保健師	2	10
教員	3	14
その他	3	14

(複数回答あり) 助産師・女性相談員・小学校相談員・薬剤師

③ 学会員の別

・日本看護医療学会の会員…3名

・中部地区小児アレルギー看護の会の会員…9名

2)学習会に対する感想

	人数	%
満足	13	65
まあ満足	6	30
どちらともいえない	0	0
やや不満足・不満足	0	0
無回答	1	15

自由記述内容

- ・ 色々な病院、職場の立場からお話、意見を聞けたのでよかった。
- ・ 様々な立場で働かれている方々のお話、考えが聞け勉強になりました。
- ・ とても勉強になりました。ひとり家族への事体もあまり理解できていなかった部分が多くとても勉強になりました。喘息については色々な意見がありとてもすごいと思いました。
- ・ とても楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・ 子ども専門に関わっている職種の人たちと意見交換ができていい刺激をもらいました。
- ・ 内容的にも振り返りが出来て良かった。
- ・ 初の参加です。参加できてとても良かったです。
- ・ 貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- ・ 事例検討はとても勉強になりました。
- ・ 当事者の声を聞かせていただくことができ、有意義な時間でした。ありがとうございました。

### 3)学習会の内容

#### ① 講演「ひとり親、その子育ての現実と当事者の声」

	人数	%
わかりやすかった	19	95
ふつう	0	0
難しかった	0	0
無回答	1	5

#### ② 事例検討「アレルギーをもつ児と親とのかかわり」

	人数	%
わかりやすかった	14	75
ふつう	1	5
難しかった	3	15
無回答	2	10

#### 自由記述内容

- 講演、事例検討ともに大変興味深く学ぶことができました。今後活かしていこうと思います。

##### 【講演】

- ひとり親を含む親御さんの育児への苦勞、大変さ、体験がきけて今後子どもと親に関わるうえで大切にすべきことを学びました。
- ひとり親についてこんな環境であるんだとはじめて知りました。これからも外来でくる「ひとり親」の方に積極的に話しかけようかなと思いました。
- 内容が具体的で、とても分かりやすかったです。
- 講演では実際に大変な立場で子育てをされている生のお声を聞くことができたのはとても貴重なことだと思います。また、質疑で色々な立場の方がそれぞれの立場でできる援助について考えていらっしゃることも勉強になりました。
- ひとり親といわず、核家族で子育てをしている母親には共通していると思いました。

##### 【事例検討】

- 事例の治療をおっていくのに時間がかかってしまった。
- 初めての参加であったがグループワークに入りやすかった。  
GW では話し合いや発表を通じていろいろな視点からケースをみることができました。今後の参考にします。
- 情報が少なかった。
- 外来勤務なので、患者さんとの関わる時間も短く、日ごろの関わりをどうすればいいのかな～と思っていたところです。しかし、見方を変えればかかわり方も変わると感じました。
- 事例は大変難しかったのですが、複数の視点で検討すると自分になかった気づきがたくさんありとても参考になりました。

### 4)時間、会場について

#### ① 時間

	人数	%
長い	1	5
ちょうどよい	18	90
短い	0	0
無回答	1	5

#### ② 会場

	人数	%
満足	11	55
まあ満足	6	30
どちらともいえない	2	10
やや不満足・不満足	0	0
無回答	1	5

#### 自由記述内容

- とてもよかった。
- 足元が寒かった。
- 会場が少し寒かったです。

### 5)その他、意見要望

- ありがとうございました。
- 皆様お疲れ様でございました。参加させていただきありがとうございました。
- 大変勉強になりました。今後もよろしく願いいたします。
- 事例参加が途中参加となってしまいました。当事者の人と共に話をする機会をいただきありがとうございました。
- 貴重な機会をありがとうございました。
- 豊田市の自主グループ「アレルギーっ子ママの会」のお手伝いをさせていただいております。食物アレルギー

一児を支えるために何か勉強をさせていただく機会がありましたらまたお知らせください。

- 病院と臨床の連携について。実際にはどのようなになっているかを知りたい。小学校で子どもや保護者の相談にあっているが、事例のような慢性疾患や精神的な問題を抱えている子どもについて、「病院でどのように言われてましたか？」と母の情報だけがたよりにっている現状もある。NSが窓口になることがBESTだと考えますがいかがでしょうか。
- 子どものスキンケアについての勉強会があったら参加したいと思います。



## 会計報告

### 収入

参加費 100 円×10 人=1,000 円 (資料代として、医療学会/アレルギー看護の会の非会員より徴収した)

合 計 1,000 円

### 支出

菓子・お茶代 887 円

模造紙・付箋 2,667 円

服部様市内交通費 1,000 円

合 計 4,554 円

収 支 3,554 円

### ケア部会メンバー・企画者での実施後打合せ内容

- ① アンケートの結果の共有
  - ・ アクセスや環境など、変えられない点については、今後アンケートから外す。
- ② 質疑応答について
  - ・ 第一部の服部様が途中で変えられるため、急きょ質疑応答の時間を設定したが、参加者からの発言も多く、質疑応答の時間を設けてよかった。
- ③ 事例検討について
  - ・ 時間的にももう少しあればと思ったが、限られた時間内でできた。もっと時間があってもよい。
  - ・ 今回はエデュケーター講習の方法を採用した。
  - ・ 立場の違いがある中で、意見を共有できてよかった。
  - ・ 事例提示については、系統だてた提示があるとよい。治療経過、介入内容など
  - ・ 事例検討の進め方として、まず気になった点を挙げ、それを足がかりに考えていくという方法でよかった。
  - ・ 何をどこまで明らかにするのか、具体的に提示してグループワークを開始すると話しやすいのでは。
  - ・ 司会者・ファシリテーターの役割について、2 グループに 1 名のファシリテーターは少しやりにくさがあった。グループメンバーとして割り振ってもよかった。ファシリテーターを立てる場合、事例の進め方を共有しておく、グループ間で同じように進められる。
- ④ 10月3月の事例検討・勉強会に向けて
  - ・ 石井先生より、現状として、事例検討のニーズはあまりないとのこと。今回の勉強会をきっかけに、他の施設のPAEからも気軽に事例提示ができるようになるとよい。
  - ・ 10月はPAEのレポートの共有・報告とし、時間が許せば事例検討もできるか？要検討。
  - ・ 3月は今回とどうように、共催という形とする。テーマはアレルギーに限定することなく、家族へのケアなど幅広く捉えていくとよい。

以上